



日英伊対訳『景德伝燈録』VII-2

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: ルッジェリ, アンナ, 平木, 康平 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00004543

日英伊対訳『景德伝燈録』VII-2

アンナ・ルツジェリ
平木康平

本稿は、『景德伝燈録』に訓読を施し、さらにそれを現代日本語と英語、イタリア語に翻訳したものである。本稿はアンナ・ルツジェリと平木康平との共同研究の成果である。そのうち訓読と日本語訳、注記については、ルツジェリの草稿に平木が補正を加えたものであり、文責は平木にある。英語訳とイタリア語訳についてはルツジェリが多くの方々の助力を得て行ったものであり、文責はルツジェリにある。本稿が、『景德伝燈録』第七巻から始めたのは、この第七巻が禅宗の「黄金時代」といわれる唐代の禅僧の、多くの興味深い問答を収録しているからである。

すでに『人文学論集 第18集』（大阪府立大学人文学会 平成12年3月）に、「日英伊対訳『景德伝燈録』Ⅶ-1」が掲載された。本稿はその後を承けるものである。¹

凡例

- 原文は『景德伝燈録』（影印宋版本）道原著、中文出版社、東京、1990年を底本とした。
- 『景德伝燈録』本文と訳文の字体は、原則として、常用漢字体を使用した。
- 原文の内容によって区切り、短い段落分けを行った。
- 注は各ページの下に記した。
- 簡単な注は訳文中に（ ）を用いて記した。

¹おもな参考文献は次の通りである。

原文は『大蔵経』第五一巻「景德伝燈録」、大正新修大蔵経刊行会、東京、昭和48年、196—467頁、『景德伝燈録』（宋版本）道原著、中文出版社、東京、1990年を参照。

他に『景德伝燈録』第3-4巻、景德伝燈録研究会編、入矢義高監修、禅文化研究所、京都、1993年を参照。この二巻は『景德伝燈録』の原文・読み下し・注を掲載している。しかし、これに対して本稿は読み下しと注、解釈においてかなりの相違がある。

また佐橋法庵著、『景德傳燈録』上・下巻、春秋社、東京、1970年を参照。

英訳は Tao Yuan (compiled by), *The Transmission of the Lamp: Early Masters*, Engl. Transl. by Sohaku Ogata, Wolfeboro, Longwood Academic, 1990 を参照。これは『景德伝燈録』の最初の十巻しか扱っていない。

景德伝燈録卷第七

西堂智蔵禪師

12.

尋又送書往徑山、与国一禪師〔語在国一章〕。属連帥路嗣恭延請大寂居府、応期盛化。師迴郡、得大寂付受納袈裟、令学者親近。

尋いで又た書を送りて徑山に往き、国一禪師に与えしむ〔語は国一の章に在り〕。属たま連帥の路嗣恭 大寂を延請して府に居らしめ、期に応じて化を盛んにす。師郡に廻るに、大寂の納袈裟を付受するを得、学者をして親近せしむ。

[日訳]

やがてまた師（智蔵禪師）²は手紙を徑山にいる国一禪師³に届けに往かせた。〔この話は国一禪師の章にある。〕ちょうどその時、太守の路嗣恭は大寂（馬祖）⁴を招請して自分の役所に住まわせて、教化を盛んにしようとしていた。師は自分の国に帰る際、大寂から衲衣袈裟を授かることができ、（それによって）修行者をひきよせた。

[英訳]

Subsequently the master (Xī-táng Zhì-zàng) was sent to Jing monastery to deliver a letter to master Guó-yī. [This story appears in the chapter concerning master Guó-yī].

At that time, governor Lù-sì Gōng invited master Dà-jì (Mǎ-zhǔ Dào-yī) to live in his region and he tried to make the (master's) teaching popular. When the master (Xī-táng) came back to his country, he was able to receive the robes from Dà-jì, and thus was able to attract practisers.

²西堂智蔵（735-814）は、南康郡（江西省）虔化に生まる。馬祖道一に參禪し、印可を受く。

³国一禪師は、徑山法欽（714-792）のこと。道欽とも言われ、呉郡（江蘇省）崑山の人。俗性は朱氏。鶴林玄素の法嗣となる。後餘杭（浙江省）の西山（徑山）に住し、徑山派の初祖となる。

⁴大寂は馬祖道一（709-788）のこと。

[伊訳]

In seguito il maestro (Xi-táng Zhì-zàng) fu mandato al monastero Jing per consegnare una lettera al maestro Guó-yī. [Questa storia compare nel capitolo relativo al maestro Guó-yī].

Proprio in quel periodo, il governatore Lù-sì Gōng invitò il maestro Dà-jì (Mǎ-zhǔ Dào-yī) a vivere nella sua regione e cercò di rendere l'insegnamento di questi popolare. Quando il maestro (Xi-táng) ritornò nel suo paese, riuscì a ricevere l'abito monacale da Dà-jì e, con questo, avvicinare a sé i praticanti.

13.

僧問馬祖、請和尚離四句絕百非、直指某甲西來意。祖云、我今日無心情、汝去問取智藏。其僧乃來問師。師云、汝何不問和尚。僧云、和尚令某甲來問上坐 (= 座)。師以手摩頭云、今日頭疼、汝去問海師兄。其僧又去問海 [百丈和尚]。海云、我到這裏却不会。僧乃拳似馬祖。祖云、藏頭白、海頭黑。

僧 馬祖に問う、「請う和尚、四句を離れ百非を絶つて、^{それがし}某甲に西來の意を直指せよ。」

祖云く、「我れ今日心情なし、汝去りて智藏に問取せよ。」

其の僧乃ち來たりて師に問う。師云く、「汝何ぞ和尚に問わざる。」

僧云、「和尚某甲をして上坐 (= 座) に來問せしむ。」

師 手を以つて頭を摩して云く、「今日頭疼く、汝去りて海師兄に問え。」

其の僧又た去りて (懷) 海 [百丈和尚] に問う。

海云く、「我れ這裏に到りて却つて会せず。」

僧乃ち馬祖に拳似す。

祖云く、「(智) 藏の頭は白く、(懷) 海の頭は黒し。」

[日訳]

僧が馬祖に尋ねた、「和尚。詩的表現を離れ、あらゆる否定の言葉をすてて、達磨が西方からやって來られた意図を、どうかずばり私にお示し下さい。」

馬祖が答えた、「私は今日は気分が乗りません。お前は智藏の所へ行って尋ねなさい。」

その僧はそこで師 (智藏) の所へやってきて、(同じことを) 尋ねた。

師が言った、「お前は どうして和尚に尋ねないのか。」

僧が答えた、「和尚は私を上座 (智藏) の所に尋ねにこさせました。」

師は手で頭を撫でて言った、「今日は頭が痛い。お前は兄弟子（百丈）懐海⁵さんの所へ行って尋ねなさい。」

その僧はまた懐海の所へ行って（同じことを）尋ねた。

懐海が言った、「私はここに来てから、（そんなことは）さっぱり分からなくなりました。」

僧はそこで馬祖にこのことを話した。

馬祖が言った、「智蔵の頭は白いが、懐海の頭は黒い。」

[英訳]

A monk asked master Mǎ-zhǔ: "Master! Being separated from the poetic expressions and throwing away all negations, show me directly the aim of Bodhidharma's coming from the west."

Mǎ-zhǔ answered, "Today I can't concentrate. Go to master Xī-táng and ask him about it."

The monk then went to master (Xī-táng) and asked him.

Master (Xī-táng) said him, "Why did you not ask the master (Mǎ-zhǔ)?"

The monk said, "The master (Mǎ-zhǔ) made me come to ask you."

Rubbing his head with his hand, Xī-táng answered, "Today my head aches. Go and ask my (Dharma) brother master (Bǎi-zàng) Huái-hǎi about it."

Again that monk went to master (Bǎi-zàng) Huái-hǎi and asked him.

He answered, "Since coming here I don't have a clue".

The monk then told Mǎ-zhǔ what happened.

Mǎ-zhǔ commented, "Xī-táng's head is white, whereas Huái-hǎi's head is black."

[伊訳]

Un monaco chiese al maestro Mǎ-zhǔ: "Maestro! Separandosi dalle espressioni poetiche e gettando via tutte le negazioni, mi dimostri chiaramente lo scopo della venuta di Bodhidharma dall'occidente."

Mǎ-zhǔ rispose: "Io oggi non riesco a concentrarmi. Vai dal maestro Xī-táng e chiedilo a

⁵百丈懐海(749-819)は、福州(福建省)長楽の人。俗姓は王氏。二〇歳で西山慧照について出家し、後に馬祖道一に参じて印可を得た。

lui."

Quel monaco allora andò dal maestro (Xi-táng) e lo chiese a lui.

Il maestro (Xi-táng) gli domandò: "Perchè non lo hai chiesto al maestro (Mǎ-zhǔ)?"

Il monaco rispose: "Il maestro (Mǎ-zhǔ) mi ha fatto venire da lei a chiederlo."

Il maestro (Xi-táng) si accarezzò la testa e disse: "Oggi mi fa male la testa. Vai dal fratello (del Dharma) maestro (Bǎi-zàng) Huái-hǎi e chiedilo a lui."

Ancora quel monaco si recò da (Bǎi-zàng) Huái-hǎi e lo chiese a lui."

Egli rispose: "Io, arrivato qui, proprio non lo so."

Il monaco allora raccontò l'accaduto a Mǎ-zhǔ.

Mǎ-zhǔ commentò: "La testa di Xi-táng è bianca, mentre la testa di Huái-hǎi è nera."

14.

馬祖一日問師云、子何不看經。師云、經豈異邪。祖云、然、雖如此、汝向後為人也須得。曰、智藏病思自養、敢言為人。祖云、子末年必興於世也。馬祖滅後、師唐貞元七年衆請開堂。

馬祖、一日、師に問いて云く、「子何ぞ經を看ざる。」

師云く、「經豈に異ならんや。」

祖云く、「然り、此の如しと雖も、汝向後人の為にするに也た須らく得べし。」

曰く、「智藏病は自ら養わんと思う。敢えて人の為にすと言わんや。」

祖云く、「子末年必ず世に興らん。」

馬祖滅して後、師唐の貞元七年、衆堂を聞かんことを請う。

[日訳]

馬祖がある日、師（智藏）に尋ねて言った、「お前は どうしてお經を読まないのかね。」

師が答えた、「お經はそんなに立派なものですか。」

馬祖が言った、「その通りだが、お前が将来人のために働くようになれば、きっと必要になるよ。」

師が言った、「私は自分の病いを治したいと思うのみです。どうしての人のために働こうなどと申しましょう。」

馬祖が言った、「お前は晩年きっと世の人の上に立つだろう。」

馬祖が亡くなった後に、師は唐の貞元七年（791）に、大衆の要請によって開堂した。

[英訳]

One day Mǎ-zhǔ went to ask the master (Xī-táng), "Why don't you read the sutras?"

The master said, "Are the sutras such marvelous things?"

Mǎ-zhǔ answered, "I agree with you, but in the future if you are to work for the people, they'll be necessary."

The master said, "I want just to take care of my own sickness. Why should I say to work for the sake of the people?"

Mǎ-zhǔ commented, "In your later years you will surely benefit the people."

After the death of Mǎ-zhǔ, in the seventh year of Zhèn-yuān (791) of Táng, under the request of the congregation, the master opened the hall (of the temple).

[伊訳]

Un giorno Mǎ-zhǔ andò a chiedere al maestro (Xī-táng): "Perché tu non leggi i sutra?"

Il maestro rispose: "I sutra sono così importanti?"

Mǎ-zhǔ disse: "Sono d'accordo, ma se tu nel futuro sarai in grado di lavorare per la gente, certamente ti saranno utili."

Il maestro rispose: "Io voglio solo curami la mia malattia. Perché dovrei dire di lavorare per la gente?"

Mǎ-zhǔ commentò: "Tu nella vecchiaia sarai di sicuro molto utile alla gente."

Dopo la morte di Mǎ-zhǔ, il maestro, il settimo anno dell'era Zhèn-yuān (791) del periodo Táng, sotto richiesta della congregazione aprì le sale (del tempio).

15.

李尚書韜嘗問僧、馬大師有什麼言教。僧云、大師或說即心即仏。或說非心非仏。李云、総過這辺。李却問師、馬大師有什麼言教。師呼李韜。韜応諾。師云、鼓角動也。

李尚書韜、嘗て僧に問う、「馬大師^{なん}什麼の言教か有る。」

僧云く、「大師或は即心即仏を説き、或は非心非仏を説く。」

李云く、「総べて這辺に過ぎたり。」

李却た師に問う、「馬大師什麼の言教か有る。」

師、李韜を呼ぶ。韜、応諾す。師云く、「鼓角動けり。」

[日訳]

尚書の李翱がむかしある僧に尋ねた、「(馬祖) 大師はどんな説法をされていますか。」
僧が答えた、「大師はある時は『即心即仏』を説き、またある時は『非心非仏』を説いておられます。」

李が言った、「いずれも一方に片寄っています。」

また李が師(智蔵)に尋ねた、「馬祖大師はどんな説法をされていますか。」

師が「李翱さん」と呼びかけた。李翱が「はい」と答えた。

師が言った、「太鼓と角笛⁶が鳴りました。」

[英訳]

State secretary Li-shàng once asked a monk, "What teaching did the great master (Mǎ-zhǔ) preach?"

The monk answered, "The great master at one time preaches 'mind is Buddha' and at another time he preaches 'not mind, not Buddha!'"

Li-shàng remarked, "Both of them are one-sided."

Then he asked the master (Xi-táng), "What was the teaching of the great master Mǎ-zhǔ?"

The master called out, "Li-shàng!"

Li-shàng answered, "Yes?"

The master said, "A drum and a horn have sounded."

[伊訳]

Il segretario di stato Li-shàng una volta chiese ad un monaco: "Il grande maestro (Mǎ-zhǔ) che insegnamento predica?"

Il monaco rispose: "Il grande maestro una volta predica 'la mente è Buddha', un'altra volta predica 'non mente, non Buddha!'"

Li-shàng disse: "Entrambi sono di parte."

Ancora Li-shàng chiese al maestro (Xi-táng): "Il grande maestro Mǎ-zhǔ che insegnamento predica?"

Il maestro chiamò: "Li-shàng".

⁶ 鼓と角とは、軍中で合図に用いる太鼓とつの笛。

Lǐ-shàng rìpō: "Sì?"

Il maestro disse: "Un tamburo e un corno hanno suonato."

16.

制空禪師謂師曰、日出太早生。師曰、正是時。

制空禪師、師に謂いて曰く、「日出づること太だ^{はやし}早生。」

師曰く、「正に是れ時なり。」

[日訳]

制空禪師⁷が師に向って言った、「お日さんの出るのが大変早くなりましたね。」
師が答えた、「ちょうど良い時間です。」

[英訳]

Master Zhì-kōng said to the master, "The sunrise was early."

The master (Xī-táng) replied, "Just on time".

[伊訳]

Il maestro Zhì-kōng disse al maestro: "Il sole sorge molto presto."

Il maestro (Xī-táng) rispose: "Proprio al momento giusto."

17.

師住西堂後、有一俗士問、有天堂地獄否。師曰、有。曰、有仏法僧宝否。師曰、有。更有多問、尽答言有。曰、和尚恁麼道莫錯否。師曰、汝曾見尊宿來邪。曰、某甲曾參徑山和尚來。師曰、徑山向汝作麼生道。曰、他道一切総無。師曰、汝有妻否。曰、有。師曰、徑山和尚有妻否。曰、無。師曰、徑山和尚道無即得。俗士礼謝而去。

師、西堂に住せし後、一俗士有りて問う、「天堂と地獄有りや否や。」

師曰く、「有り」。

曰く、「仏法僧の宝有りや否や。」

師曰く、「有り。」

更に多く問ひあるも、尽く答えて有りと言う。

曰く、「和尚恁麼に道いて錯る莫きや否や。」
師曰、「汝曾て尊宿に見え来たるや。」
曰く、「某甲曾て径山和尚に参じ来たる。」
師曰く、「径山は汝に向いて作麼生をか道う。」
曰く、「他は一切総べて無しと道えり。」
師曰く、「汝は妻有りや否や。」
曰く、「有り。」
師曰く、「径山和尚は妻有りや否や。」
曰く、「無し。」
師曰く、「径山和尚の無しと道うは即ち得たり。」
俗士、礼謝して去る。

[日訳]

師が西堂に住むようになった後、ある一人の俗士が尋ねた、「天堂と地獄はありますか。」
師が答えた、「あります。」
（彼が）言った、「仏法僧の三宝はありますか。」
師が答えた、「あります。」
彼はさらにたくさん質問したが、師はすべて「あります」と答えた。
（彼が）言った、「和尚はそのようにおっしゃるが間違いはありませんか。」
師が言った、「お前さんはいままでに立派なお方にお会いしたことがありますか。」
（彼が）言った、「私はむかし径山和尚にお会いしたことがあります。」
師が言った、「径山はお前にどのように言っていましたか。」
（彼が）答えた、「彼はすべての質問に『ありません』と答えました。」
師が言った、「お前さんには妻がありますか。」
（彼が）答えた、「あります。」
師が言った、「径山和尚には妻がいますか。」
（彼が）答えた、「ありません。」
師が言った、「径山和尚が『ありません』と言うのは正しい。」
俗士はいとまごいの挨拶をして帰っていった。

⁷経歴は未詳。

[英訳]

After that, master (Xi-táng) was lodging in the western hall. A lay man who was there asked him, "Do heaven and hell exist, or not?"

The master answered, "Yes, they do."

He asked, "Do the treasures of Buddha, Dharma and Sangha exist, or not?"

The master answered, "Yes, they do."

(The man) then asked many more questions, but the master answered at all of them with 'yes'.

(He) asked, "Does the master not make some mistakes by answering in this way?"

The master asked back, "Have you ever met a respectable master?"

He said, "Once I meet the master Zhì-kōng."

The master asked, "What did the master Zhì-kōng say to you?"

He said, "He answered all the questions with 'no'."

The master said, "Do you have a wife?"

(The man) answered, "Yes, I have."

The master asked, "Does master Zhì-kōng have a wife?"

(The man) answered, "No, he hasn't."

The master said, "Master Zhì-kōng's answer of 'no' is right."

The lay man gave his farewell greeting then departed.

[伊訳]

In seguito il maestro (Xi-táng) fu alloggiato nell'ala ovest (del monastero). Un laico che si trovava lì gli chiese: "Il paradiso e l'inferno esistono?"

Il maestro rispose: "Sì, esistono."

(L'uomo) chiese: "I tre tesori del Buddha, Dharma e Sangha esistono?"

Il maestro rispose: "Sì, esistono."

(L'uomo) fece ancora tante domande, ma il maestro rispondeva a tutte 'sì'.

Egli chiese: "Il maestro non sbaglia nel rispondere così?"

Il maestro gli rispose: "Tu hai mai incontrato un maestro rispettabile?"

(L'uomo) rispose: "Ho avuto l'occasione di incontrare il maestro Zhì-kōng."

Il maestro chiese: "Tu hai una moglie?"

(L'uomo) rispose: "Sì, ce l'ho."

Il maestro gli chiese: "Il maestro Zhi-kōng ha una moglie?"

(L'uomo) rispose: "No, non ce l'ha."

Il maestro disse: "Il 'no' del maestro Zhi-kōng è giusto."

Il laico fece i saluti di commiato e se ne andò.

18.

師元和九年四月八日帰寂。寿八十臘五十五。憲宗諡大宣教禪師塔曰元和証真。至穆宗重諡大覺禪師。

師、元和九年四月八日帰寂す。寿は八十、臘は五十五なり。憲宗、大宣教禪師とおくりな諡し、塔を元和証真と曰う。穆宗に至って、重ねて大覺禪師と諡す。

[日訳]

師（智藏）は元和九年（814）四月八日に遷化した。年齢八十歳、僧籍に入ってから五十五年であった。憲宗（805-820在位）は師に大宣教禪師と贈り名し、石塔には「元和証真」と題した。穆宗（820-824在位）の世になって、重ねて大覺禪師と贈り名した。

[英訳]

On April 8th of the ninth year of Yuán-hé Huō (814), the master passed away. He was eighty years old, and since he became a monks fifty-five years had passed.

Emperor Xiàn-zōng (805-820) conferred upon the master the posthumous title of master Dài-xuān Jiào ('great proclaimer of the teaching'), and the tower dedicated to him was named 'Truth Testifier of the Yuán-hé Huō Era'.

In the epoch of emperor Mù-zōng (820-824) in addition (another) posthumous title was given to him: master Dài-jué ('great awakening').

[伊訳]

Il maestro morì l'otto aprile del nono anno dell'era Yuán-hé Huō (814). Aveva ottanta anni e da quando era diventato monaco erano trascorsi cinquantacinque anni.

L'imperatore Xiàn-zōng (805-820) assegnò al maestro il titolo postumo di maestro Dài-xuān Jiào ('grande proclamatore dell'insegnamento'), e alla torre che gli fu dedicata venne dato il nome di 'Testimone della Verità dell' Era Yuán-hé Huō'.

Nell'epoca dell'imperatore Mù-zōng (820-824) gli fu aggiunto un(ulteriore) titolo postumo: maestro Dài-jué ('grande risveglio').

章敬懷暉禪師

19.

京兆府章敬寺懷暉禪師、泉州同安人也。姓謝氏。受大寂心印。初住定州栢巖、次止中条山。唐元和初、憲宗詔居上玄寺、學者奔湊。

京兆府章敬寺の懷暉禪師は、泉州同安の人なり。姓は謝氏。大寂の心印を受く。初め定州の栢巖に住し、次いで中条山に止まる。唐の元和の初め、憲宗詔して上寺に居らしむ。玄學者奔り湊まる。

[日訳]

京兆府の章敬寺の懷暉禪師は、泉州同安⁸の出身の人である。姓は謝氏。大寂の印可を受けた。最初、定州⁹の栢巖寺に住んでいたが、その後、中条山に止住した。唐の元和年間(806-820)の初めに、憲宗が詔を出して、上寺に住ませたところ、玄學者が先を争うように集ってきた。¹⁰

[英訳]

Master Huái-hui of Zhāng-jìng monastery in Peking prefecture was from Tóng-ān of Quán province. His surname was Xiè. He received the seal of the Dharma from master Dà jì. First he lived in Bǎi-yǎn temple in Ding province; later he stopped in Zhōng-tiáo monastery.

In the beginning of the Yuán-hé Huō era (805-820), emperor Xiàn-zōng issued an

⁸現在の福建省同安県。

⁹現在の河北省定州県。

¹⁰玄學者とは、『老子』・『莊子』・『易経』の三玄の学問を修めた學者という。一本「憲宗詔居上玄寺、學者奔湊」に作る。その場合、學者とは修行者をいう。

imperial edict and when had the master live in Shàng temple, the taoist scholars gathered under him in a great hurry.

[伊訳]

Il maestro Huai-huì del monastero Zhāng-jìng nella prefettura di Pechino era originario di Tóng-ān nella provincia Quán. Il suo cognome era Xiè. Ricevette il sigillo del Dharma dal maestro Dà jì. All'inizio visse nel tempio Bǎi-yán nello stato Ding; in seguito si fermò nel monastero Zhōng-tiáo.

All'inizio dell'era Yuán-hé Huò (805-820), l'imperatore Xiàn-zōng proclamò un editto imperiale e quando mandò il maestro a vivere nel tempio Shàng, gli studiosi taoisti vennero a raccogliersi intorno a lui in grande fretta.

20.

師上堂。示徒曰、至理亡言。時人不悉。強習他事、以為功能。不知自性元非塵境、是箇微妙大解脫門。所有鑑覺、不染不礙。如是光明、未曾休廢。曩劫至今、固無變易。猶如日輪遠近斯照。雖及衆色、不與一切和合。靈燭妙明、非假鍛鍊。為不了故、取於物象。但如捏目妄起空華。徒自疲勞、枉經劫數。若能返照、無第二人。拳措施為、不虧実相。

師、上堂す。徒に示して曰く、「至理は言亡し。時人は悉らかにせず。強いて他事を習いて、以て功能と為す。自性の元より塵境に非ず、是れ箇の微妙なる大解脫門たるを知らず。所有鑑覺は染まず、礙げられず。是の如き光明は未だ曾て休廢せず。曩劫より今に至るまで、固より變易なし。猶お日輪の遠近を斯れ照らすが如し。衆色に及ぶと雖ども、一切と和合せず。靈燭は妙明にして、鍛鍊を仮るに非ず。了せざるが為の故に、物象に取らる。但だ目を捏りて妄りに空華を起こすが如し。徒らに自ずから疲勞して、枉げて劫數を経ん。若し能く返照せば、第二人なし。拳措施為して、実相を虧かず。

[日訳]

師が法堂に上った。弟子たちに教えを示して言った。

「究極の道理は言葉では表現できない。ところが今の人々はそのことを弁えていない。よけいなことを無理やり学んで、それを手柄に思っている。彼らは自分の本性がも

ともと汚れた世界には属しておらず、そのまま微妙で偉大な悟りの世界にいることを知らない。あらゆる知覚は何ものにも染まらず、何ものにも妨げられない。このような優れた智慧の輝きは決してなくなったことはない。大昔から今日に至るまで、もとより変化したこともない。それはちょうど太陽が遠いところも近いところも照らすようなものだ。あらゆる物に光は達するけれども、一切のものと溶け合わない。不思議な智慧の灯火は巧妙に明るく照らす、それを身につけるのに鍛錬を必要としない。ところがそれを理解しないために、(人々は)事物の姿に引きずられている。それは目をこすって、わざわざありもしない空中の花を作り出し、いたずらに自ずから疲労して、無駄な長い時間をついやしている。もし自分の心を照らすことができれば、別にもう一人の自分があるわけではない。ふだん通りの日常生活を送って真実の姿をそこなうこともない。」

[英訳]

One day the master (Huái-huī) ascended the platform in the Dharma hall and, delivering the teaching to the disciples, he said,

"The supreme principle cannot be expressed by words. But people do not comprehend it and are instead proud to learn superfluous things. They do not understand that their self-nature originally does not belong to the world of dust, and that it resides in the world of the wondrous and great awakening. All perceptions do not become impregnated with anything and by anything do not become impeded. Such a wonderful light of wisdom has never stopped. From the beginning of time until now it has never changed. It is like the sun, which shines both near and far. Its light touches all things, but does not mix with them. The wondrous lamp of wisdom brightens with mastery, although training is not necessary. But since it is not comprehended, people drag it in the form of objects.

" Like rubbing eyes and creating non-existent flowers in the air, making efforts in vain, much time is wasted. When our own mind is illuminated, it doesn't mean that there is another self. Spending daily life as always, the reality of things is never lost."

[伊訳]

Un giorno il maestro (Huái-huī) salì sul seggio della sala del Dharma e, istruendo i discepoli sull'insegnamento, disse:

"Il principio supremo non può essere espresso a parole. Ma le persone non lo sanno e si sentono invece orgogliose di imparare forzatamente cose inutili. Loro non comprendono che la loro propria natura non appartiene originariamente al mondo della polvere, e che questa così com'è risiede nel mondo del delicato e grandioso risveglio. Tutte le percezioni non si impregnano di nessuna cosa e da nessuna cosa vengono impediti. Una luce di saggezza talmente meravigliosa, non si esaurirà mai. Dall'inizio dei tempi fino ad oggi non è mai cambiata. E' come il sole che splende sia in luoghi lontani, che vicini. La sua luce raggiunge ogni cosa, ma non si mescola mai con niente. Lo strano lume di saggezza splende luminoso con maestria, ma non ha bisogno di nessuna preparazione. Però, dal momento che ciò non lo si comprende, la gente lo trascina nelle forme degli oggetti.

"Stropicciandosi gli occhi e creando volontariamente nell'aria fiori che non esistono, ci si sforza invano sprecando tantissimo tempo inutilmente. Quando la nostra mente è illuminata, non significa che sia presente un altro sé. Trascorrendo la vita di ogni giorno come sempre, la realtà delle cose non sarà mai persa."

21.

僧問、心法双亡、指歸何所。師曰、郢人無汚、徒勞運斤。曰、請師不返之言。師曰、即無返句。〔後人拳之於洞山。洞山云、道即甚易、罕遇作家。〕

僧問う、「心と法と双び亡ずれば、何の所にか指歸せん。」

師曰く、「郢人汚れ無きに、徒らに斤を運らすを勞す。」

曰く、「師に不返の言を請う。」

師曰く、「即ち返句なし。」

〔後人 之れを洞山に拳す。洞山云く、「道う即ち甚だ易きも、作家に遇うこと罕なり。〕〕

[日訳]

僧が尋ねた、「主観の心と客観の物がとも消滅すれば、どこを目指して行けばいいのでしょうか。」

師が答えた、「郢の国の人が汚れもないのに、いたずらに斤を振りまわしています。

”〕

(僧が)言った、「師匠どうか返事のかたちをとらない言葉をお聞かせ下さい。」

師が答えた、「もともと返事なんかしていないよ。」

[後の人はこの話を洞山(良价)¹²に示した。すると洞山が言った、「言うことははなはだたやすいけれども、遣り手にはめったに会えない。」]

[英訳]

A monk asked "If both the subjective mind and the objective things are lost, where should one aim?"

The master (Huái-huī) said, "Even though the people of Yīng district are not corrupted, they swing their axes in vain."

The monk asked, "Master please, let me heard words that are not an answer."

The master replied, "From the beginning I have not answered you."

[Later a man told this story to master Dòng-shān (Liáng-jiè), who commented, "It is very easy to speak, but rare indeed to meet a capable person."]

[伊訳]

Un monaco chiese: "Se sia la mente soggettiva che le cose oggettive sparissero, a quale luogo dovremmo aspirare?"

Il maestro (Huái-huī) rispose: "Anche se la gente del distretto Yīng non è corrotta, solleva le asce inutilmente."

Il monaco chiese: "Maestro per favore, mi faccia sentire delle parole che non siano una risposta."

Il maestro disse: "Sin dall'inizio io non ti ho risposto."

[Successivamente qualcuno raccontò questa storia a Dòng-shān (Liáng-jiè), il quale commentò: "E' molto facile parlare, ma è raro incontrare una persona capace".]

22.

百丈和尚令一僧来伺候。師上堂次、展坐具、礼拜了。起来拈师一隻鞞鞋、以衫袖扞

¹¹『莊子』徐無鬼篇、「郢人が鼻先にはんの少し土がついたので、大工の名人、匠石に削り取らせたところ、匠石は斧をふるって削り取り、鼻は少しも傷つかなかった」という話を踏まえる。

¹²洞山良价(807-869)は会稽(越州浙江省)に生まる。幼時に、馬祖下の五洩山靈黙に従って出家し、雲巖の法嗣となる。のちに曹洞宗の高祖と仰がれる。

却塵了。倒覆向下。師曰。老僧罪過。

百丈和尚、一僧をして来たり伺候せしむ。師上堂する次、坐具を展べて、礼拝し了り、起ち来たりて師の一隻の鞞鞋を拵り、衫袖を以て塵を払却し了るや、倒覆して下に向く。

師曰く、「老僧罪過あり。」

[日訳]

百丈（懐海）和尚は一人の僧を師（懐暉）のもとにご機嫌伺いにさし向けた。師が法堂に上ったとき、（僧は）坐具を広げて、礼拝しておわり、立ち上がって、師の片方の草鞋を取って、自分の衣の袖で塵を払いおわるとそれをひっくり返して置いた。師が言った、「私が悪かった。」

[英訳]

Master Bǎi-zhàng (Huái-hǎi) sent a monk to visit the master (Huái-huī). When the master ascended the platform in the Dharma hall, the monk spread his prostration cloth, made his prostrations, than he stood up and picked up one of the straw sandals of the master, wiped off the dust with the sleeve of his robe, and turning the shoe upside down, replaced it.

The master remarked, "It is my fault."

[伊訳]

Il maestro Bǎi-zhàng (Huái-hǎi) mandò un monaco a fare visita al maestro (Huái-huī). Quando il maestro salì sul seggio, il monaco dispiegò la sua stoffa per le prostrazioni, si prosternò, si alzò e quindi, prendendo un sandalo di paglia del maestro, con la manica della veste ne tolse la polvere e lo riposò capovolto.

Il maestro disse: "E' colpa mia."

23.

或問、祖師伝心地法門。為是真如心、妄想心。非真非妄心。為是三乘教外別立心。師曰、汝見目前虚空塵。曰、信知常在目前。人自不見。師曰、汝莫認影像。曰、和

尚作麼生。師以手撥空三下。曰、作麼生即是。師曰、汝向後会去在。

或るひと問う、「祖師 心地の法門を伝うと。是れ真如心¹³為るや、妄想心¹⁴たるや、非真非妄心¹⁵たるや。是れ三乗教外別立の心¹⁶為るや。」

師曰く、「汝 目前の虚空を見るや。」

曰く、「信^{まこと}に常に目前に在るを知るも、人は自ら見ず。」

師曰く、「汝 影像を認むること莫^なれ。」

曰く、「和尚は作麼生^{そもさん}。」

師 手を以て空を撥うこと三下。

曰く、「作麼生^{そもさん}か即ち是れなる。」

師曰く、「汝 向後に会し去らん。」

[日訳]

ある僧が尋ねた、「祖師（達磨）が心地¹³の法門を伝えましたが、その心は真如¹⁴の心でしょうか、妄想¹⁵の心でしょうか、真如でもなく妄想でもない心でしょうか。それとも三乗¹⁶の教えの外に別に立てた心でしょうか。」

師が答えた、「お前は目の前の虚空が見えるかね。」

（僧が）言った、「たしかに常に目の前にあることを知っていながら、人は自分から見ようとしません。」

師が言った。「お前はまぼろしを見てはいけません。」

（僧が）言った、「和尚はどうですか。」

師は手で空を三回払った。

（僧が）言った、「それはどういうことですか。」

師が答えた、「お前は後で分かるだろう。」

¹³心地とは、心は一切法・一切功德を生じ増長させること、あたかも大地が草木百穀を生じ増長させるようであるから、心を地にたとえて心地という。とくに禅宗では、心性を指して心田ともいう。

¹⁴真如の真は真実であり、如はその性が「かくあること」の意味とする。万有に遍在する根原的な実相をいう。

¹⁵妄想は虚妄の想念を現わす。真理に背いた顛倒の念である。これは迷妄の心に生じる想念であって実体のないものである。

¹⁶三乗とは、声聞乗・縁覚乗・菩薩乗の三つの教法。

[英訳]

Someone asked, "The patriarch (Bodhidharma) has transmitted the doctrine of mind-ground. Is this mind the absolute mind, or the false mind, or non-absolute and non-false mind. Or is it the mind set up apart, outside the teaching of the three vehicles?"

The master (Huái-huī) said, "Do you see the sky before your eyes?"

The monk answered, "I understand that people even if they know what is always in front of their eyes, they are not trying to see by themselves."

The master said, "Do not see unreal images."

The monk asked, "And you, master?"

The master swept the sky three times with his hand.

The monk asked, "What kind of thing is that?"

The master said, "Some day you will understand."

[伊訳]

Un monaco chiese: "Il primo patriarca Bodhidharma ha trasmesso la dottrina mente-terra. Ma questa è la mente assoluta, o la mente illusoria, o ancora la mente non assoluta e non illusoria? Oppure è la mente creata a parte, al di fuori dell'insegnamento dei tre veicoli?"

Il maestro (Huái-huī) rispose: "Riesci a vedere il cielo davanti ai tuoi occhi?"

(Il monaco) rispose: "E' vero, che nonostante si conosca ciò che di solito si ha davanti agli occhi, non ci si sforza di vedere con i propri occhi."

Il maestro disse: "Non vedere immagini irreali."

Il monaco chiese: "E lei, maestro?"

Il maestro spazzò il cielo tre volte con la mano.

Il monaco chiese: "E questo cos'è?"

Il maestro rispose: "Un giorno capirai."